

# 事業概要

(昭和57年度のまとめ)

京都府立図書館

# 目 次

1. 沿 革 .....	1
2. 利用状況 .....	4
3. 図書館資料 .....	9
4. 行 事 .....	17
5. 経 費 .....	20
6. 組 織 .....	21
7. 施設の概要 .....	21
8. 利用案内 .....	22

## 1. 沿 革

- 明治31年4月 府立京都図書館御苑内創立  
館長 三宅五郎三郎就任
- 〃 6月 業務開始
- 33年 夜間開館開始  
館長 原田千之助 中道貫一と異動
- 36年4月 館長 湯浅吉郎就任
- 〃 10月 巡回図書館（貸出文庫）制度開始
- 38年4月 児童室開設
- 39年6月 館外貸与規則制定告示
- 〃 11月 新館起工式
- 42年2月 新館竣工
- 〃 3月 京都府立京都図書館規則告示
- 〃 4月 新館開館
- 大正5年5月 湯浅吉郎館長 退職
- 〃 10月 北島貞顕館長に就任
- 8年1月 本館図書分類目録編纂に着手
- 11年4月 貸出文庫を増設
- 14年3月 児童室閉鎖
- 昭和3年3月 帯出規程告示
- 〃 4月 個人貸出実施
- 〃 6月 和漢図書分類目録 分類表12冊作製
- 9年10月 京都府中央図書館に指定
- 15年11月 北島貞顕館長退職 内藤乾吉館長に就任
- 16年5月 児童室復活開室
- 22年7月 内藤乾吉館長退職 西村精一館長に就任
- 〃 8月 館外貸出廃止
- 23年4月 児童室を現在室に移転
- 〃 9月 読書ルーム開設（河原町丸善京都店地下）
- 24年4月 読書相談開始
- 〃 6月 河原町分館開館（河原町丸善京都店地下）
- 25年2月 伏見分館開館（伏見信用金庫2階）
- 〃 3月 巡回図書館（貸出文庫）廃止
- 〃 6月 宮津地方分館開館（宮津町役場内）
- 〃 7月 綾部地方分館（綾部市立図書館内）及び  
峰山地方分館（丹後地方教育局内）開館

- 昭和25年 8月 学生自由閲覧室新設
- 〃 11月 京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
- 26年 4月 上京分館開館(北区紫郊会館内)
- 〃 9月 本館大閲覧室屋根修理着工 休館
- 〃 10月 本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
- 〃 11月 本館大閲覧室安全開架式を実施
- 〃 12月 本館新体制で開館
- 27年 6月 本館読書相談係設置
- 〃 7月 園部地方分館(園部町立図書館内)  
北桑田地方分館(京北町下中)及び  
木津地方分館(旧役場内)開館
- 28年 4月 官津地方分館市立図書館内に移転  
本館 月曜日休館を実施
- 29年 2月 伏見分館新築工事着工
- 〃 7月 木津地方分館(木津小学校内)に移転  
伏見分館庁舎竣工移転
- 〃 9月 京都府立図書館「善本目録」作製
- 30年 6月 峰山地方分館移転(丹波公民館内)
- 〃 9月 青年学級文庫実施
- 31年 5月 上京分館移転(桜谷文庫内)
- 〃 9月 河原町分館閉館
- 32年 6月 中京分館(河原町分館改称)開館(烏丸庁舎内)
- 〃 10月 官津地方分館移転(労働セツルメント内)
- 35年10月 中京分館館外貸出実施
- 37年 9月 峰山地方分館移転(丹波小学校内)
- 38年 3月 本館読書相談係学生自習閲覧室貸出文庫閉鎖  
蔵書の一部を資料館へ搬出
- 〃 5月 木津地方分館移転(町民センター内)
- 〃 7月 綾部地方分館移転(市民センター内)
- 〃 10月 西村精一館長転出(京都府立総合資料館長へ)  
相馬利雄館長に就任
- 〃 11月 本館 日曜 土曜午後・夜間を休館
- 〃 12月 児童室 土・日曜休室
- 39年 1月 本館外装改修工事
- 〃 5月 本館夜間土曜午後再開(9時迄)貸出室設置  
児童室館外貸出実施土曜日開室

- 昭和39年5月 宮津地方分館移転（宮津市立図書館内）  
伏見分館館外貸出実施
- // 7月 市内分館 日曜日休館を実施
- 40年1月 中京分館仮移転（京一商同窓会館）
- // 7月 児童室に母親文庫設置
- // 9月 府教育委員会基本規則一部改正  
教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
- // 11月 中京分館移転（京都府中京庁舎内）
- 41年9月 綾部地方分館閉館
- // 11月 園部地方分館閉館  
自動車文庫命名式（蟻川知事「あゆみ号」と命名）
- 42年7月 本館修繕工事
- // 9月 貸出室移転再開
- 44年12月 本館夜間閉館時間（7時）に変更
- 45年8月 相馬利雄館長退職 荒尾利就館長事務取扱 就任・転出  
岩崎彰之助館長就任  
宮津地方分館 宮津市立図書館内に移転  
本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウン方式に切替
- 47年4月 岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任
- 48年4月 上京分館館外貸出実施
- // 6月 吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任
- 49年4月 庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任
- 50年3月 木津地方分館閉館  
身体障害者用 便所・スロープ新設  
宮本英男館長退職
- // 4月 布村忠雄館長就任
- // 5月 本館（閲覧室・中央カウンター・本館新聞雑誌室開設）内装工事  
本館閲覧室を完全開架式に切替
- 51年4月 本館閲覧用目録作成に着手
- // 5月 上京分館閉館（51.5.8）
- // 7月 児童室改修工事
- 53年3月 本館改修工事（外装・屋根葺替・玄関・防災設備）
- // 3月 本館閲覧用目録整備完了
- 54年3月 本館書庫の改修工事
- // 4月 国会図書館からの図書貸出制度発足

- 昭和54年 4月 本館自習室を閉鎖  
 // 7月 本館・伏見分館の冷暖房工事完了  
 // 8月 北桑田地方分館仮移転（京北農業協同組合弓削支所内）  
 // 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新  
 // 11月 「専門情報機関要覧」刊行（京都府立図書館編）  
 55年 3月 北桑田地方分館閉館（55.3.31付）  
 // 4月 布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任  
 // 4月 峰山地方分館峰山町中央公民館内に移転  
 56年 4月 長谷川啓司館長転出、浜辺一彦館長就任  
 // 9月 移動図書館用電動集密書架設置  
 // 12月 伏見分館改修工事  
 57年 4月 伏見分館宿日直を廃止し、警備会社に委託  
 // 7月 対面朗読 実施  
 58年 2月 生涯教育推進事業として読書推進講座実施  
 // 3月 「京都府の公共図書館」刊行  
 // 3月 伏見分館 ブックポスト設置

## 2. 利用状況

(1) 昭和57年度における本館及び市内2分館の個人貸出による利用状況は次のとおりである。

### 個人貸出状況

館名	区分	登録者数	貸出者数	貸出冊数
本館		8,913人 (うち児童1,793)	45,326人 (うち児童17,608)	80,116冊 (うち児童34,253)
伏見分館		5,912 (うち児童2,855)	54,265 (うち児童24,618)	106,289 (うち児童53,633)
中京分館		885	11,700	24,269
計		15,710 (うち児童4,648)	111,291 (うち児童42,226)	210,674 (うち児童87,886)

### 一日平均館外貸出利用状況

館名	区分	開館日数	一日平均貸出者数	一日平均貸出冊数
本館		272日	167人	295冊
伏見分館		284	191	374
中京分館		278	42	87

57年度の本館、2市内分館の全貸出冊数は、210,674冊(うち児童書87,886冊)という状況である。登録者数においては15,710人(うち児童4,648人)となっている。その登録状況は次表のとおりである。

### 個人貸出登録状況

館名 \ 区分	一般	学生・生徒	児童	合計
本館	2,016人	5,104人	1,793人	8,913人
伏見分館	1,782	1,275	2,855	5,912
中京分館	632	253	—	885
合計	4,430	6,632	4,648	15,710

(2) 昭和57年度における地方分館の個人貸出し、団体貸出しによる利用状況は次のとおりである。

### 地方分館個人貸出状況

館名 \ 区分	登録者数	貸出者数	貸出冊数
峰山地方分館	536人 (うち児童366)	3,333人 (うち児童2,142)	6,279冊 (うち児童3,824)
宮津地方分館	421 (うち児童301)	3,572 (うち児童2,647)	8,850 (うち児童5,784)
計	957 (うち児童667)	6,905 (うち児童4,789)	15,129 (うち児童9,608)

### 地方分館団体貸出状況

分館名 \ 区分	貸出団体数	貸出冊数
峰山地方分館	99 団体	1,005 冊 (うち児童352)
宮津地方分館	50	1,781 (うち児童1,436)
計	149	2,786 (うち児童1,788)

(3) 移動図書館の利用状況

昭和57年度における移動図書館は1市13町28駐車場(年度内新設、廃止を含む)において実施した。

移動図書館貸出状況

区分	登録者数	貸出者数	貸出冊数
個人	2,602 人 (うち児童 919)	8,183 人 (うち児童 2,563)	54,673 冊 (うち児童 31,945)
団体	5 団体	11 団体	668 (うち児童 338)

移動図書館「あゆみ号」巡回地一覧

(昭和58.3.31現在)

巡回地区名	駐車場名	駐 車 場 所	巡回地区名	駐車場名	駐 車 場 所
端 穂 町	橋 爪	端 穂 町 役 場	宇治田原町	郷ノ口	京 都 田 原 農 協
	水 原	明 俊 小 学 校	山 城 町	上 狛	山 城 町 役 場
	質 美	質 美 農 協 前		棚 倉	町 立 青 年 研 修 所
日 吉 町	殿 田	日 吉 町 役 場	向 日 市	寺 戸	京 信 コ ミ ュ ニ テ イ ・ ホ ー ル
	胡 麻	滝 沢 モ ー タ ー ス 前	大 山 崎 町	下 植 野	下 植 野 団 地 集 会 所
	田 原	日 吉 解 放 セ ン タ ー 前	京 北 町	上 川	国 鉄 バ ス 駐 車 場
丹 波 町	須 知	堀 田 理 容 店 前	美 山 町	上 平 屋	西 野 商 会 横
	下 山	グ リ ー ン ハ イ ツ 集 会 所 前	加 茂 町	岡 崎	文 化 坂 横
	豊 田	豊 田 公 民 館		加 茂	社 会 福 祉 セ ン タ ー
八 木 町	神 吉	神 吉 小 学 校 前		南 加 茂 台	塚 穴 公 園
三 和 町	千 束	役 場 駐 車 場	井 手 町	井 手	井 手 小 学 校
	上 川 合	川 合 集 落 セ ン タ ー		多 賀	多 賀 小 学 校
	菟 原	菟 原 農 協			

年度内変更駐車場

廃 止 : 八木町北屋賀(7月)

和知町本庄(10月)、下粟野(10月)

新 設 : 井手町井手(6月)、多賀(10月)

加茂町南加茂台(10月)

(4) 貸出文庫の利用状況

昭和57年度から貸出文庫（地域家庭文庫への貸出）と、へき地等巡回文庫を統合して、市町村教育委員会を経由する貸出文庫を新設した。利用状況は次のとおりである。

市 町 名	貸 出 冊 数	(うち児童書)
宇 治 市	500 冊	500 冊
城 陽 市	1,200	400
向 日 市	700	700
長 岡 京 市	500	500
大 山 崎 町	400	400
田 辺 町	500	500
井 手 町	400	0
加 茂 町	200	200
笠 置 町	1,000	500
和 束 町	1,420	600
南 山 城 村	1,000	500
美 山 町	663	200
八 木 町	1,064	0
日 吉 町	800	800
端 穂 町	900	900
和 知 町	774	578
三 和 町	250	250
計(4市12町1村)	12,271	7,528

(5) 読書相談状況(本館)

読書相談は年々利用者が増加し質問内容も巾広く、従って総合資料館や類縁機関との相互協力がますます必要となっている。昭和57年度における読書相談件数は次のとおりである。

事項	区分	口 頭	電 話	文 書	計
読書相談件数		632件	549件	83件	1,264件
1日平均		2.3	2.0	0.3	4.7

(注) 書架案内等は件数に含まれていない。

(6) 複写利用状況

利用人員	複写件数	複写枚数	1日平均 利用人員	1日平均 複写枚数
3,376人	4,876件	24,073枚	12人	89枚

(7) 相互貸借利用状況

	件数	冊数
国立国会図書館から借受け	18件	36冊
他府県立図書館から借受け	9	16
府下市町村立図書館へ貸出し	35	203
他府県立図書館へ貸出し	1	2

※ 市町村への貸出しの内訳

八木町	12件	54冊	木津町	2件	96冊
田辺町	5件	18冊	大山崎町	1件	1冊
八幡市	10件	17冊	亀岡市	1件	1冊
精華町	2件	4冊	京北町	1件	10冊
園部町	1件	2冊			
			計	35件	203冊

(8) 障害者サービス

視覚障害のある人々の福祉の増進・文化の向上の一助として図書館利用をはかるため、点字図書・大活字本・テープ図書の購入等による資料の充実とボランティア朗読者の協力による対面朗読を実施した。昭和57年度の状況は次のとおりである。

ア. 資料の充実

㍿ 点字図書	17タイトル	106冊
（購入	12タイトル	98冊）
（寄贈	3タイトル	6
（その他	2タイトル	2

- (イ) 大活字本 13冊  
 (ウ) テープ図書 8タイトル 64カセット

イ. 対面朗読

- (ア) 利用者 7人 23回 15冊  
 (イ) ボランティア朗読者登録数 120人

3. 図書館資料

昭和57年度末における図書館資料は次のとおりである。

(1) 図書

○ 蔵書冊数

区分 館名	昭和57.4. 1 現在 蔵書数	受入冊数	内 容			払出冊数	昭和58.3. 31 現在 蔵書数	
			購 入	寄 贈	その他			
本館	閲覧整理課	87,508冊	6,459冊	4,630	942	887	954冊	93,013冊
	館外奉仕課	41,487	4,251	4,215	33	1	986	44,752
伏見分館	19,197	1,827	1,201	626		1,212	19,812	
中京分館	11,065	1,137	944	190	3	-	12,202	
峰山地方分館	7,579	656	656	-	-	905	7,330	
宮津地方分館	5,464	1,078	622	-	456	610	5,932	
計	172,300	15,408	12,268	1,793	1,347	4,667	183,041	

分 類 別

分類	館名	5 7					
		本 館				伏見分館	百分比
		閲覧整理課	百分比	館外奉仕課	百分比		
0 総 記		3,874冊	4.2%	513冊	1.2%	515冊	2.6%
1 哲 学 ・ 宗 教		3,458	3.7	849	1.9	544	2.8
2 歴 史 ・ 地 誌		7,360	7.9	1,890	4.2	1,428	7.2
3 社 会 科 学		13,100	14.1	3,109	7.0	1,941	9.8
4 自 然 科 学		5,509	5.9	1,358	3.1	857	4.3
5 工 業		4,052	4.4	2,299	5.1	480	2.4
6 産 業		2,268	2.4	736	1.6	179	0.9
7 芸 術		4,803	5.2	1,827	4.1	678	3.4
8 語 学		1,486	1.6	233	0.5	218	1.1
9 文 学		17,418	18.7	12,225	27.3	7,545	38.1
小 計		63,328	68.1	25,039	56.0	14,385	72.6
児 童 書		16,049	17.2	19,713	44.0	5,427	27.4
そ の 他		13,636	14.7				
合 計		93,013	100	44,752	100	19,812	100

## 冊 数

( 58. 3. 31 現在 )

年 度							
中京分館	百分比	峰山地方館	百分比	宮津地方館	百分比	備 考	
						合 計	百分比
591 <sup>冊</sup>	4.8 <sup>%</sup>	105 <sup>冊</sup>	1.4 <sup>%</sup>	154 <sup>冊</sup>	2.6 <sup>%</sup>	5,752 <sup>冊</sup>	3.1 <sup>%</sup>
549	4.5	169	2.3	103	1.7	5,672	3.1
1,120	9.2	387	5.3	217	3.7	12,402	6.8
1,722	14.1	716	9.8	408	6.9	20,996	11.5
518	4.3	199	2.7	159	2.7	8,600	4.7
407	3.3	237	3.2	241	4.1	7,716	4.2
210	1.7	118	1.6	103	1.7	3,614	2.0
861	7.1	365	5.0	208	3.5	8,742	4.8
144	1.2	58	0.8	27	0.5	2,166	1.2
6,080	49.8	2,585	35.3	1,361	22.9	47,214	25.8
12,202	100	4,939	67.4	2,981	50.3	122,874	67.2
-	-	2,391	32.6	2,951	49.7	46,531	25.4
						13,636	7.4
12,202	100	7,330	100	5,932	100	183,041	100

## (2) 逐次刊行物

館名	種別	新聞 (官報)	雑誌	計	備考
本館		14	117	131	
伏見分館		6	27	33	
中京分館		6	27	33	

## 逐次刊行物一覽

	誌名	出版社	所在			備考
			本館	伏見	中京	
ア	アサヒカメラ	朝日新聞社	○		○	
	アサヒグラフ	〃	○	○		
	アサヒグラフ別冊	〃	○			
	朝日ジャーナル	〃	○		○	
	新しい住いの設計	サンケイ	○			
ウ	海	中央公論社	○			
	栄養と料理	女子栄養大	○	○		
エ	エコノミスト	毎日新聞社	○			
	S F マガジン	早川書房	○			
	親子読書	岩崎書店	○			
オ	オール読物	文芸春秋	○	○	○	
	音楽の友	音楽之友社	○			
	会社四季報	東洋経済新報社	○			
カ	科学朝日	朝日新聞社	○	○		
	かがくらんど	世界文化社	○			
	かがくのととも	福音館	○	○		
	学校図書館	全国学校図書館協議会	○			
	カメラ毎日	毎日新聞社		○		
キ	からだの科学	日本評論社	○			
	季刊教育運動	法律文化社	○			
	季刊社会保障研究	東京大学出版会	○			
	季刊としょかん批評	せきた書房	○			
	キネマ旬報	キネマ旬報社	○		○	

	誌名	出版社	所 在			備 考
			本館	伏見	中京	
キ	教 育	厚 徳 社	○			
	京 都	白 川 書 院	○	○	○	
ク	暮 しの 設 計	中 央 公 論 社	○	○		
	暮 しの 手 帖	暮 しの 手 帖 社	○	○	○	
ケ	群 像	講 談 社	○		○	
	経 済 往 来	経 済 往 来 社			○	
コ	経 済 評 論	日 本 評 論 社	○			
	芸 術 新 潮	新 潮 社	○	○	○	
ケ	蜚 雪 時 代	旺 文 社	○			
	月刊 京 都	美 乃 美 社	○			
コ	月刊 社 会 教 育	国 土 社	○			
	月刊 歴 史 公 論	雄 山 閣	○			
コ	月刊 芳 働 問 題	日 本 評 論 社	○			
	言 語 生 活	筑 摩 書 房	○			
コ	現 代 の エ ス プ リ	至 文 堂	○			
	現 代 の 図 書 館	日 本 図 書 館 協 会	○			
コ	公 害 研 究	岩 波 書 店	○			
	国 文 学 解 釈 と 鑑 賞	至 文 堂	○			
コ	こ だ も と し ょ かん	東 京 子 だ も 図 書 館	○			
	子 供 の 科 学	誠 文 堂 新 光 社	○	○		
コ	こ だ も の し あ わ せ	草 土 文 化	○			
	こ だ も の と も	福 音 館	○	○		
コ	こ だ も の と も (普 及 版)	//	○			
	こ だ も の と も (年 少 版)	//	○			
サ	子 供 の 本 棚	子 だ も の 本 研 究 会	○			
	サ ン デ ー 毎 日	毎 日 新 聞 社	○		○	
シ	時 刻 表	日 本 交 通 公 社	○	○	○	
	時 事 英 語 研 究	研 究 社	○			
シ	自 然	中 央 公 論 社	○			
	思 想	岩 波 書 店	○			
シ	思 想 の 科 学	思 想 の 科 学 社			○	
	児 童 心 理	金 子 書 房	○			
シ	社 会 福 祉 研 究	弘 濟 会	○			

	誌名	出版社	所在			備考
			本館	伏見	中京	
シ	週刊朝日	朝日新聞社	○	○	○	
	週刊女性自身	光文社			○	
	週刊新潮	新潮社	○			
	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	○			
	週刊文春	文芸春秋			○	
	週刊ベースボール	ベースボールマガジン	○			
	週刊読売	読売新聞社		○		
	住宅画報	住宅新報社		○		
	住民と自治	自治体問題研究所	○			
	受験新報	法学書院	○			
	主婦の友	主婦の友社	○	○	○	
	趣味の園芸	日本放送出版協会	○	○		
	ジュリスト	有斐閣	○			
	ジュリスト増刊基本判例 解説シリーズ	//	○			
	ジュリスト増刊総合特集	//	○			
	ジュリスト増刊法律学 の争点シリーズ	//	○			
	小学一年生	小学館	○			
	// 二年生	//	○			
	// 三年生	//	○			
	// 四年生	//	○			
// 五年生	//	○				
// 六年生	//	○				
小説新潮	新潮社	○	○	○		
商店界	誠文堂新光社	○				
新潮	新潮社	○				
スイングジャーナル	スイングジャーナル社	○				
世界	岩波書店	○		○		
装苑	文化出版局	○				
壮快	マイヘルス社			○		
太陽	平凡社	○	○	○		
太陽シリーズ	//	○				
旅	日本交通公社	○	○	○		

	誌名	出版社	所在			備考
			本館	伏見	中京	
テ	中央公論	中央公論者	○	○	○	
テ	テアトロ	テアトロ社	○			
	天文ガイド	誠文堂新光社	○			
	点字評論	日本盲人評論家協会	○			
	点字毎日	毎日新聞社	○			
	点字ジャーナル	東京ヘレンケラー協会	○			
	点字リーダーズダイジェスト	毎日新聞社	○			
ト	都市問題	東京市政調査会	○			
	図書館界	日本図書館研究会	○			
	図書館雑誌	日本図書館協会	○			
	図書館評論	図書館問題研究会	○			
	ドレスメイキング	鎌倉書房			○	
ニ	日本児童文学	盛光社	○			
	ニュートン	教育社	○			
ハ	母の友	福音館		○		
ヒ	美術手帖	美術出版社	○			
フ	婦人倶楽部	講談社	○			
	婦人公論	中央公論社	○	○	○	
	部落	部落問題研究所	○			
	部落解放	解放出版社	○			
	文学	岩波書店	○			
	文学界	文芸春秋社	○			
	文学	河出書房	○			
	文芸春秋	文芸春秋社	○	○	○	
へ	別冊ジュリスト	有斐閣	○			
	別冊太陽	平凡社	○			
	別冊文芸春秋	文芸春秋社	○			
	別冊山と溪谷	山と溪谷社	○			
ホ	法律時報	日本評論社	○			
マ	毎日グラフィック	毎日新聞社	○			
	毎日ライフ	//		○		
ミ	ミセス	文化出版局	○	○		
	みんなの図書館	図書館問題研究会	○			

	誌名	出版社	所在			備考
			本館	伏見	中京	
ム	無線と実験	誠文堂新光社	○			
モ	モーターファン	三栄書房	○			
ヤ	山と溪谷	山と溪谷社	○			
ユ	ユリイカ	青工社	○			
ラ	洛味	洛味社	○			
リ	リボン	集英社	○			
ル	るるぶ	日本交通公社	○			
レ	歴史読本	人物往来社			○	
	レコード芸術	音楽の友社			○	
計			117	27	27	

紙名	所在			備考
	本館	伏見	中京	
朝日新聞	○	○	○	
京都新聞	○	○	○	
サンケイ新聞	○			
日刊工業新聞	○			
日本経済新聞	○	○	○	
スポーツニッポン		○	○	
デイリースポーツ	○			
毎日新聞	○	○	○	
夕刊京都新聞	○			
読売新聞	○	○	○	
朝日小学生新聞	○			
朝日写真ニュース	○			
官報	○			
衆議院会議録	○			
参議院会議録	○			
計	14	6	6	

## 寄 贈 逐 次 刊 行 物

（昭和55年度から受入れ）

分 類 区 分	タ イ ト ル 数
図 書 館 関 係	5 5
郷 土 資 料 関 係	3 4 2
地 方 公 共 団 体 関 係	2 6
政 府 刊 行 物 関 係	2 2 6
学 校 紀 要 関 係	1 2 3
一 般 雑 誌	3 4 5
計	1, 1 1 7

### 4. 行 事

#### (1) 本館児童室

地域の子どもたちが、図書館や本に親しむ機会を設けるため、楽しい行事を開催した。

○ 映画のつどい

5月12日（水） 「鬼がくれ山のソバの花」「虎の子トラちゃん」 50人

7月14日（水） 「火事と子馬」「てんまのとらちゃん」 69人

○ としょかんクリスマスのつどい

12月24日 人形劇「ねえ、おきて」「かきじぞう」 68人

○ かみしばいの会

4月から8月までの毎週水曜日 午後3時～3時30分

○ よみきかせの会

9月からの第1、第3木曜日 午後3時30分～4時

#### (2) 伏見分館

○ 「読みきかせ」と「手づくりの遊び」

月1回（第4木曜日） 約1時間～1時間30分

(3) 移動図書館

「親と子の読書のつどい」を、町教育委員会と共催で次のとおり実施した。

月 日	7 月 26 日	8 月 2 日
場 所	和知町中央公民館	宇治田原町中央公民館
内 容 (児童)	映画 ○ ごんぎつね ○ わがままな巨人	映画 ○ ごんぎつね ○ 鬼がくれ山のソバの花
(一般)	紙芝居、読みきかせ 講演 「くらしと読書」 大阪教育大学教授 塩見 昇 映画 ○ 図書館とこどもたち	紙芝居、読みきかせ 講演 「暮らしと読書」 府立図書館長 浜辺 一彦 「子どもと読書」 小幡リス文庫 三角 清子
参加者	児童 32人 一般 62	児童 80人 一般 22

(4) 府立図書館

住民の生涯教育に関する事業として、「読書推進講座」を開設するとともに、府下図書館関係者を対象とし、専門的、技術的な研修として「図書館職員研修」を、関係諸団体と共催で開催した。

読書推進講座

- 期 間 昭和58. 2. 4 ~ 3. 5
- 会 場 京 都 府 立 図 書 館
- 受講者 70人

月 日	講 座	講 師
2. 4	戦後数年の出版界	同志社大学教授 山本 明
2. 9	親と子の読書	京都女子大学助教授 岡田 純也
2.14	著者は語る	作 家 岡本 好古
2.18	古典文学—枕草子の世界—	香川大学教授 森本 茂
2.21	手づくりの本のすすめ	紀伊国屋製本コーナー主任 石井 力太郎
2.25	京都の伝説と奇談	作 家 駒 敏郎
	昔話探録	京都府立総合資料館 主査 矢野 淳子
3. 5	文学散歩—与謝野鉄幹・晶子の跡をたずねて—	詩 人 河野 仁昭

図書館職員研修

月 日	研 修 テ ー マ	講 師 等	会 場	参加者
6. 23	講 演 会	○講演 「分化と相互協力」 ノートルダム女子大学教授 小 倉 親 雄	京都府立図書館	43人
7. 30	「出版・流通及び 図書の整理業務委 託」の現状と問題点	○講演 尼崎市立北図書館長 藤 井 千 年 ○事例発表 亀岡市立図書館 長岡京市立中央公民館	京都市社会教育 総合センター	28人
11. 9	文化講演会	○映画 「思い出の1冊の本」 ○講演 「私の生涯教育論」 評論家 富士谷 あつ子	京都府立 勤労会館	56人
12. 10	図書館の全域サー ビスについて	○映画 「図書館と子どもたち ～ある市立図書館の 児童奉仕」 ○講演 前枚方市立図書館長 天 満 隆之輔 ○事例発表 「自動車図書館導入の 経過と小図書館」 精華町立図書館	宮津市中央 公民館	35人
2. 24	図書館間相互協力 について	○講演 大阪府立中之島図書館 西 田 博 志 ○事例発表 京都府立図書館 木津町立図書館	京都府立図書館	40人

## 5. 経 費

昭和57年度における経費は、次のとおりである。

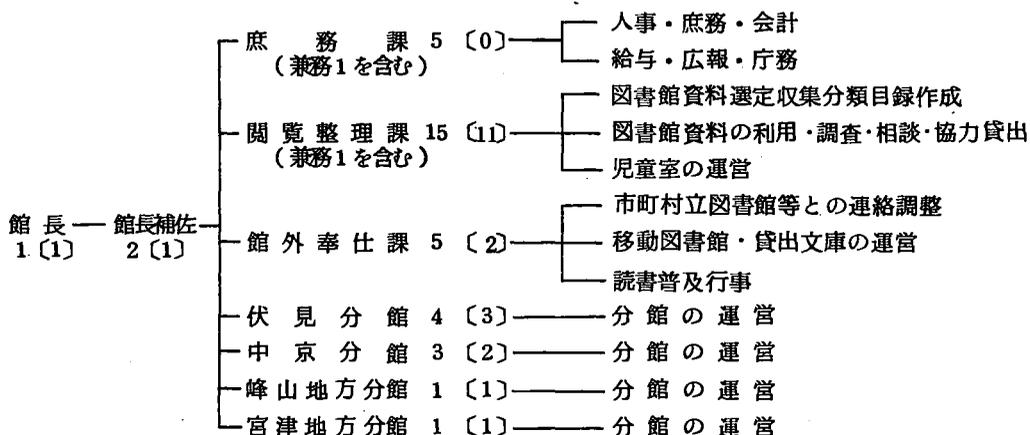
科 目	事 項	金 額	割 合	備 考	
図 書 館 費	人 件 費	183,837 <sup>円</sup>	80.9 <sup>%</sup>		
	図 書 館 資 料 費	17,926	7.9		
	内 訳	図 書	15,897	7.0	
		定期刊行物	2,029	0.9	
	そ の 他 経 費	22,538	9.9	○ 「京都府の公共図書館」作成費 650 冊 ○ 伏見分館・ブックポスト設置費 188 ○ 一般運営費 21,700	
	計	224,301	98.7		
総 社 務 会 教 育 費	生涯教育推進費	3,000	1.3	○ 読書推進講座 600 冊 ○ 図書館活動事業 2,400 ( 巡回文庫図書費 2,000 ) ( その他 400 )	
合 計		227,301	100		

### 館 別 図 書 館 資 料 費 内 訳

区 分	図 書 費	定期刊行物費	計
本 館	10,217 <sup>冊</sup>	1,163 <sup>冊</sup>	11,380 <sup>冊</sup>
伏 見 分 館	1,181	399	1,580
中 京 分 館	929	399	1,328
移 動 図 書 館 ・ 地 方 分 館 等	3,570	68	3,638
巡 回 文 庫	2,000	—	2,000
計	17,897	2,029	19,926

## 6. 組 織

昭和58年度の職員は、館長以下事務職員33名、技術職員2名、計35名(司書有資格者21名)である。組織を図示すると次のとおりである。(注〔 〕内は司書数)(58.6.18現在)



## 7. 施設の概要

館名	施設の概要		館名	施設の概要	
本館 (明治31年) (4月)	敷地	3,745.12m <sup>2</sup>	峰山地方分館 (昭和25年) (7月)	専有面積	57.00m <sup>2</sup>
	建物	2,633.50m <sup>2</sup>		構造	鉄筋コンクリート2階建 (峰山町公民館)
	構造	木造レンガ造3階建		建築年	昭和55年
	建築年	明治42年		庁舎の有	峰山町
	収容	閲覧室 132席 新聞雑誌室 24席 児童室 30席			
伏見分館 (昭和25年) (2月)	敷地	874.01m <sup>2</sup>	宮津地方分館 (昭和25年) (6月)	専有面積	52.95m <sup>2</sup>
	建物	335.53m <sup>2</sup>		構造	鉄筋コンクリート2階建 (宮津市立図書館内)
	構造	木造平屋建		建築年	昭和46年
	建築年	昭和29年		庁舎の有	宮津市
	収容	閲覧 64席			
中京分館 (昭和24年) (6月)	専有面積	158.00m <sup>2</sup>			
	構造	鉄筋コンクリート造 (府中京庁舎2階)			
	建築年	昭和40年			
	収容	閲覧 33席			

## 8. 利用案内（昭58. 4. 1現在）

### (1) 所在地一覧

館名	所在地	電話	郵便番号	備考
本館	京都市左京区岡崎成勝寺町9	771-0069 771-2450	606	
伏見分館	京都市伏見区瀬戸物町746	601-9148	612	
中京分館	京都市中京区富小路二条上ル	211-5728	604	
峰山地方分館	中郡峰山町字杉谷	07726-2-5100	627	
宮津地方分館	宮津市鶴賀	07722-2-2730	626	

### (2) 開館時間

館名		開館時間	備考
本館	閲覧室 新聞雑誌室	月～土 9.30～19.00	
	児童室	月～土 13.00～17.00	
市内分館	伏見・中京	月～土 12.00～18.00	
地方分館	峰山・宮津	月～金 9.00～17.00	
		土 9.00～12.00	

### (3) 休館日

- ・国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- ・日曜日
- ・1月2日から同月4日まで及び12月27日から同月31日まで
- ・毎月の月末日
- ・特別整理期間（特に館長の定める期間）